カタログ & リノベーションアプリ

LIXIL版カタリノ（Windows版）操作マニュアル

オーセブン株式会社 2021.08

目次

LIXIL版カタリノについて 1

イメージ提案作成から見積・ご提案書作成の流れ 2

1.カタリノの起動・終了と画面説明 4

起動方法 4

シナリオ選択と更新 4

ファイルの保存 5

カタリノの終了 5

2.各ツールの説明 6

開く 6

保存 6

背景画像の取込 7

ARカメラ 7

元に戻す 7

コピー・貼り付け 7

印刷（写真合成のみ） 8

連続配置 9

図形選択・拡大縮小・移動 10

自由変形 10

回転 11

背景切り抜き 11

背景合成 12

文字列 13

矩形リージョン 13

楕円リージョン 13

多角形リージョン 14
フリーハンドリージョン 15
手描きスケッチ 16
ビフォーアフター 16
反転 17
前後関係 17
SPパレット 18
グリッド表示 19
グリッド設定 19
3.その他の操作説明 20
定規の調整 20
定規の単位変更 20
コンテンツの配置 21
画面の拡大縮小 21
コンテンツ位置の微調整 21
図形のグループ化・グループ解除 22
色の調節 23
テクスチャの調節 23
テクスチャの外形 24
画像の取出 24
グリッドコンテンツの活用 25
4.オプション・工事費 26
オプション 26
工事費 26

5.見積書・提案書作成 27
見積項目削除 27
項目追加 27
販売価格設定 28
販売価格設定の追加と変更 28
販売価格の解除 29
販売価格の削除 29
見積項目編集 30
消費税込表示 30
諸経費・お値引きの入力 31
見積書の印刷 31
プレゼンシート 33
サーバーに送る 33
CSVデータ変換 33
6.e-Board保存・開く 34
e-Boardに保存 34
e-Boardから開く 35

LIXIL版カタリノについて

LIXIL版カタリノのシナリオは、5つのステップで構成されています。LIXIL版カタリノは、LIXILのエクステリア商品とリフォーム商品を使ったご提案ができます。
写真を取り込んで商品を合成し、オプション部材や工事費を追加し、簡易見積を手早く簡単に作成できます。

イメージ作成

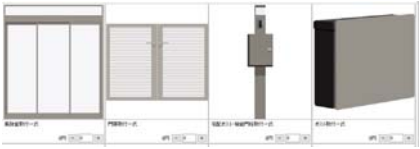
現場写真を撮影して、エクステリアやリフォーム商品を合成して、提案イメージを作成します。

オプション

イメージ作成で使用した商品のオプション部材を選択して見積に反映できます。

工事費

ご提案に必要な工事項目を選択して見積に反映できます。



お役立ち情報

おすすめ提案セットを使った提案例や、LIXILビジネス情報、カタリノサポート情報などのWEBページのリンク集になっています。商品情報やカタリノ作図のマニュアルなどさまざまな情報を取得できます。

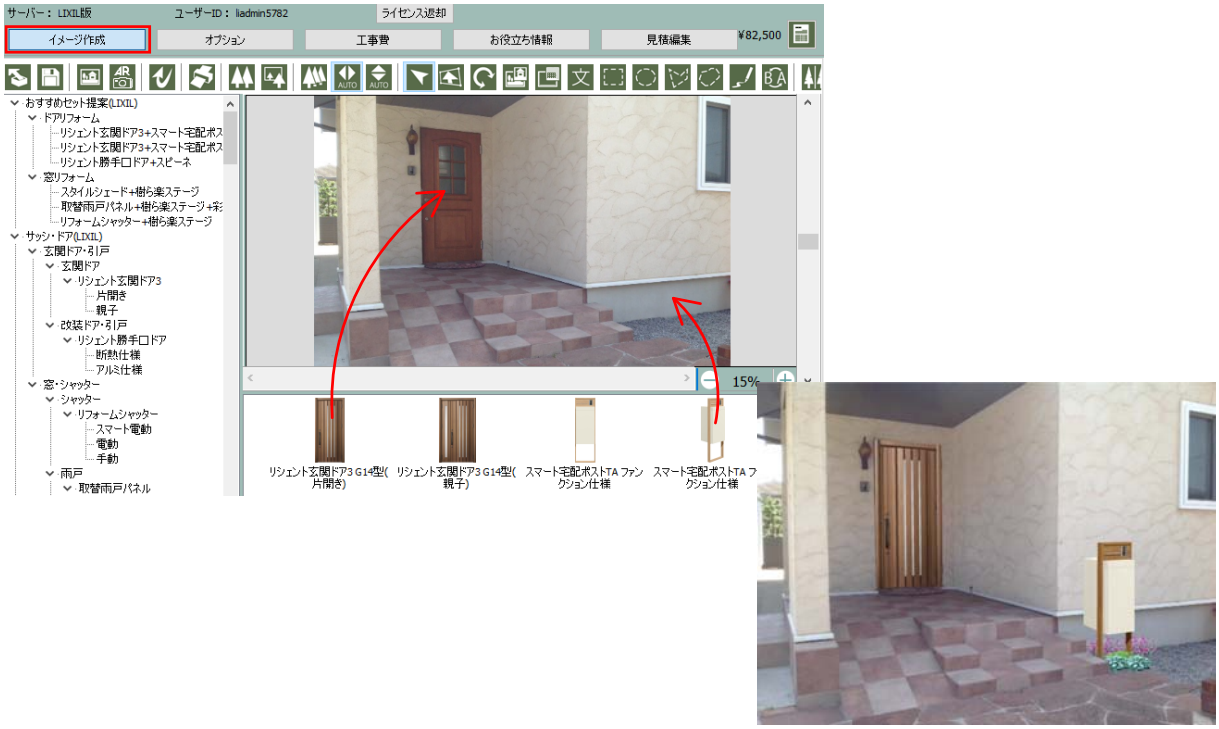
見積編集

イメージ作成で配置した商品、オプションで選択した部材、工事費で選択した工事項目の編集が行えます。
例えば、製品のサイズ変更、販売価格の編集、お値引きの設定や、オプションや工事費に登録のない部材などの追加もできます。

イメージ提案作成から見積・ご提案書作成の流れ

1.イメージ作成（写真合成）

背景画像を取り込んで、ご提案イメージを作成する



2.オプション（オプション部材の選択）

イメージ提案で使用した商品のオプション部材を数量指定し見積書に反映する

3.工事費（工事項目の選択）

工事項目の数量を指定し。見積書に反映する

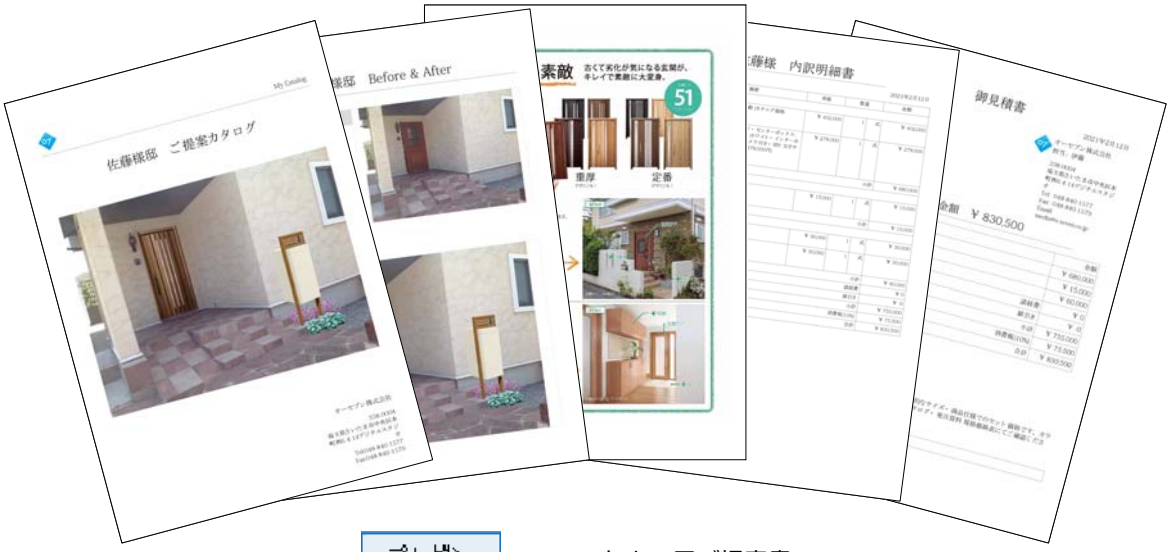
4.見積編集

イメージ作成で配置した商品のサイズの変更や工事費の入力、値引き設定などを行う

5.提案書の作成

提案書をPDF変換（印刷）または、プレゼンでスマートフォン用の提案書を作成する

印刷　見積り表紙・BeforeAfter提案・商品カタログ・内訳書・見積書

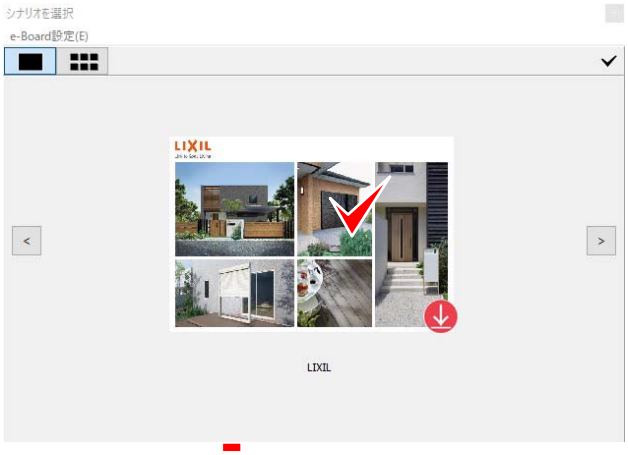


プレゼン　スマートホン用ご提案書

1.カタリノの起動・終了と画面説明

起動方法

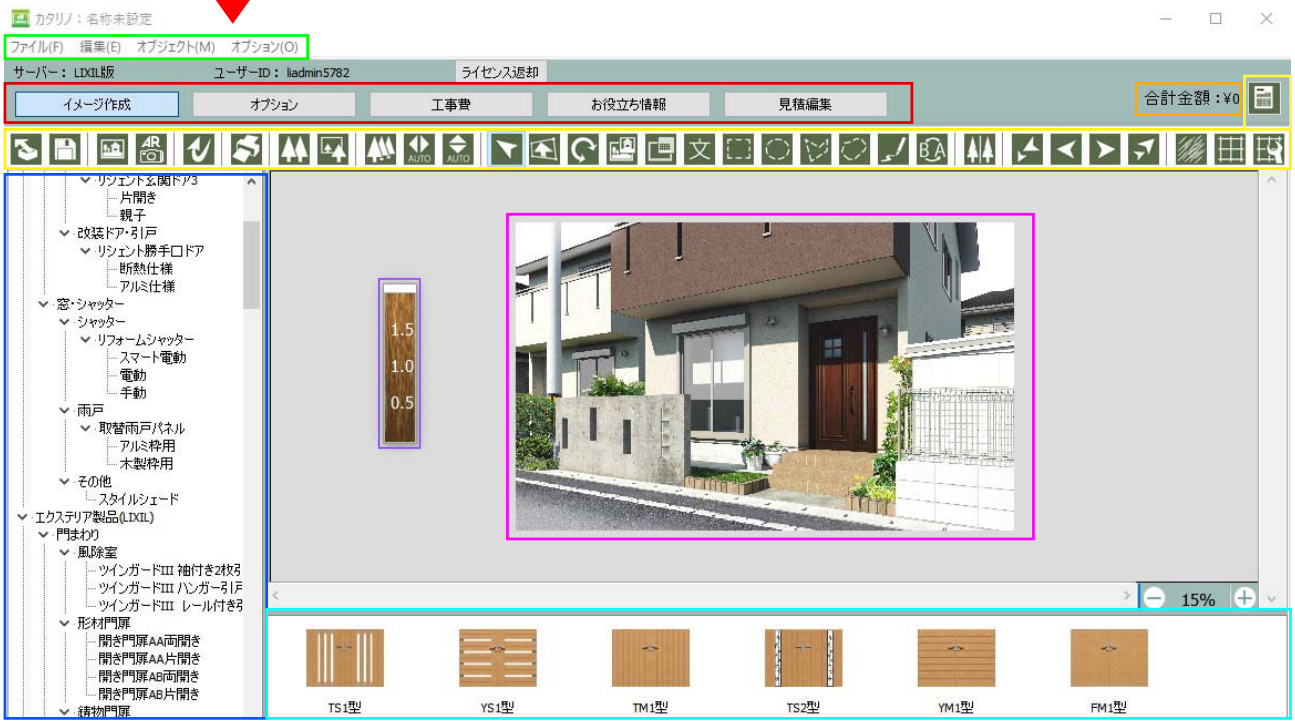
カタリノのショートカットをダブルクリックするとカタリノが起動します。



シナリオ選択と更新

起動後、トップ画面でシナリオ画像をクリックします。

更新があったシナリオは右下に更新のお知らせが表示されます。 をクリックすると差分が更新されます。 をクリックしなければ更新せずに使用することが出来ます。



作成画面
取り込んだ背景画像が表示されます。

定規
取り込んだ写真や絵のスケールを合わせます。

メニューバー
各メニューから、操作コマンドを実行します。

ステップ
イメージ作成、商品カタログなどの提案のステップを切り替えます。

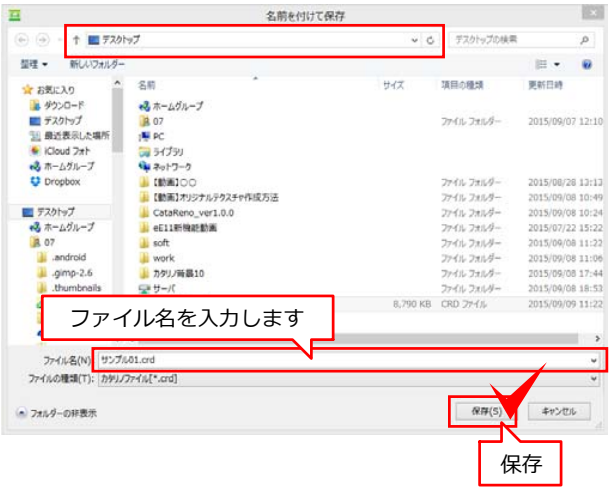
合計金額表示
商品配置、オプションと工事費の入力すると合計金額が表示されます。

ツールボックス
各ツールアイコンをクリックして操作コマンドを実行します。

コンテンツリスト
登録部材やパーツをリストから選択できます。

コンテンツボックス
リストから選択したコンテンツをここから選んで配置します。

保存

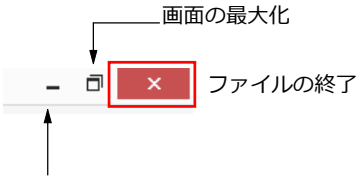


ファイルの保存

1. ボタンで
   作成したデータを保存します。
   既に保存済のデータは、上書き保存されます。
2. 保存する場所を選びます。
3. ファイル名を入力します。
4. 「保存」をクリックします。

ショートカット　（Ctrl+S）

.crdというファイル形式で保存されます。

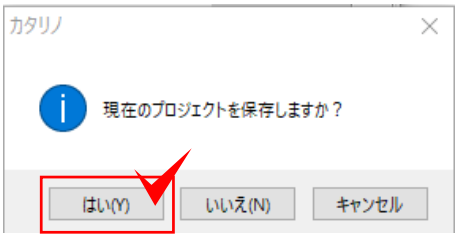


カタリノの終了

「ファイル」メニューから「カタリノの終了」を選ぶ、または、画面右上の×ボタンをクリックします。

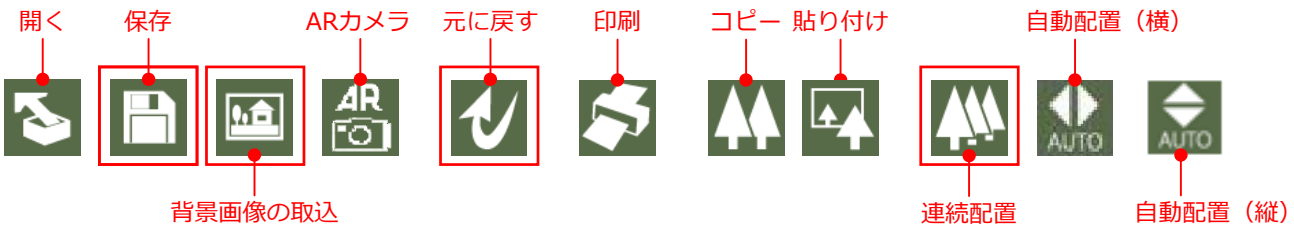
ショートカット　（Ctrl+Q）

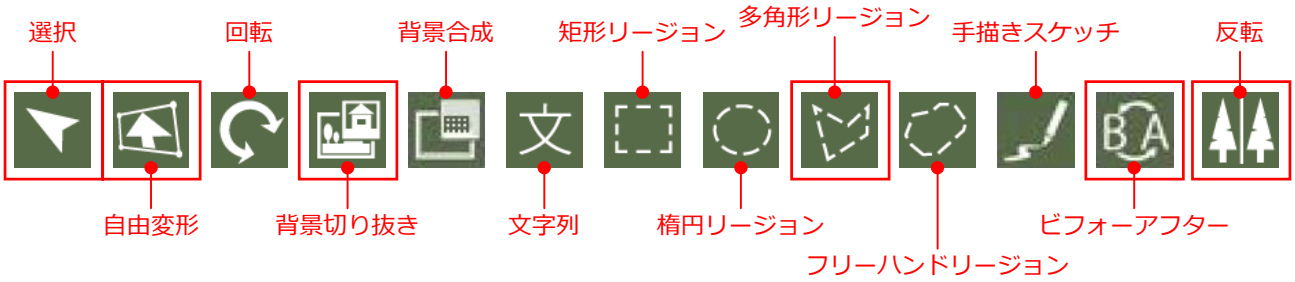
保存をしていないときは、下図のようなウィンドウが表示されます。はいをクリックして保存をしてください。

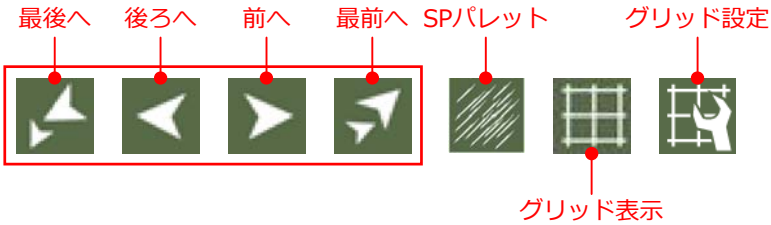


2.各ツールの説明

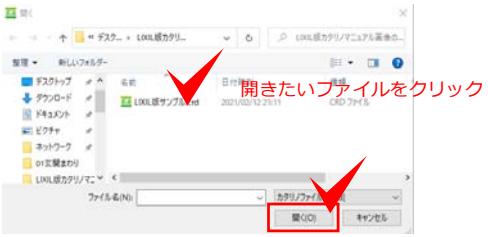
よく使うツールを□で記しています。







開く



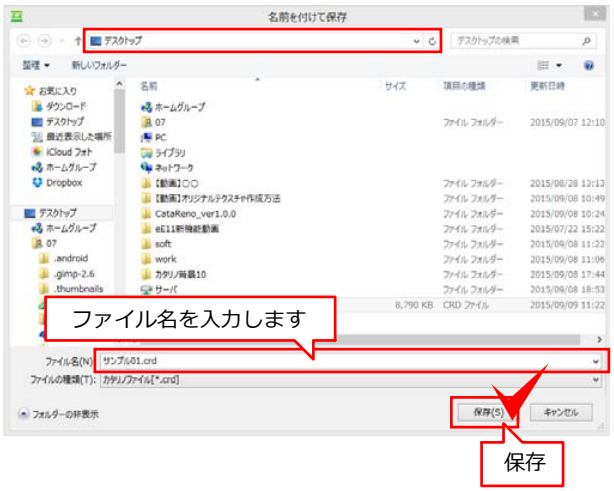
開く

保存したデータを開きます。

1. をクリックします。
2. 開きたいファイルをクリックします。
3. 「開く」をクリックします。

ショートカット　（Ctrl+O）

保存



保存

作成したデータを保存します。

1. をクリックします。
2. 保存場所を選びます。
3. ファイル名を入力します。
4. 保存をクリックします。

既に保存済のデータは、上書き保存されます。

ショートカット　（Ctrl+S）

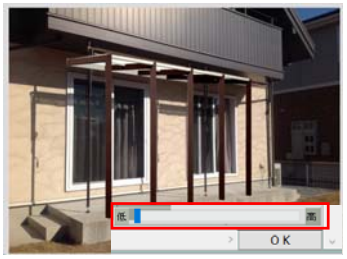
背景画像の取込

背景画像の取込

1. をクリックします。
2. 「ファイル」または「e-Board」を選びます。
   パソコンまたはe-Boardサーバーから取り込むことができます。
3. 画像を選択します。
4. 「OK」をクリックします。

ショートカット　（Ctrl+I）

ARカメラ

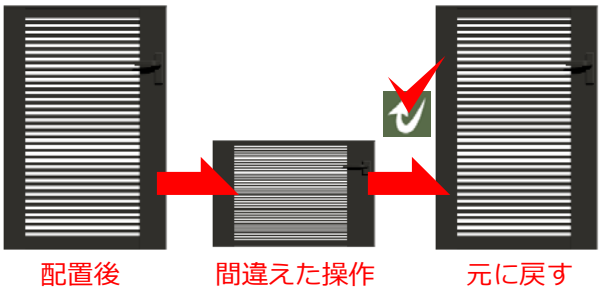


コンテンツ表示の濃度が変更できます。↑

ARカメラ

コンテンツを配置後、コンテンツに合わせて背景写真を撮ることが出来ます。
（パソコンのカメラが起動します）

元に戻す

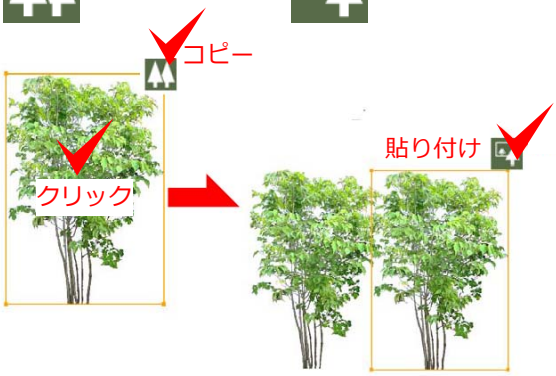


元に戻す

操作を間違えて取り消したい場合に をクリックして作業を戻す事できます。クリック毎に前の動作に戻します。

ショートカット　（Ctrl+Z）

コピー　貼り付け



コピー・貼り付け

コピーしたい図形をクリックし、 をクリックすると図形をコピーできます。

ショートカット　（Ctrl+C）

ツールでコピーした図形を貼り付けできます。

ショートカット　（Ctrl+V）

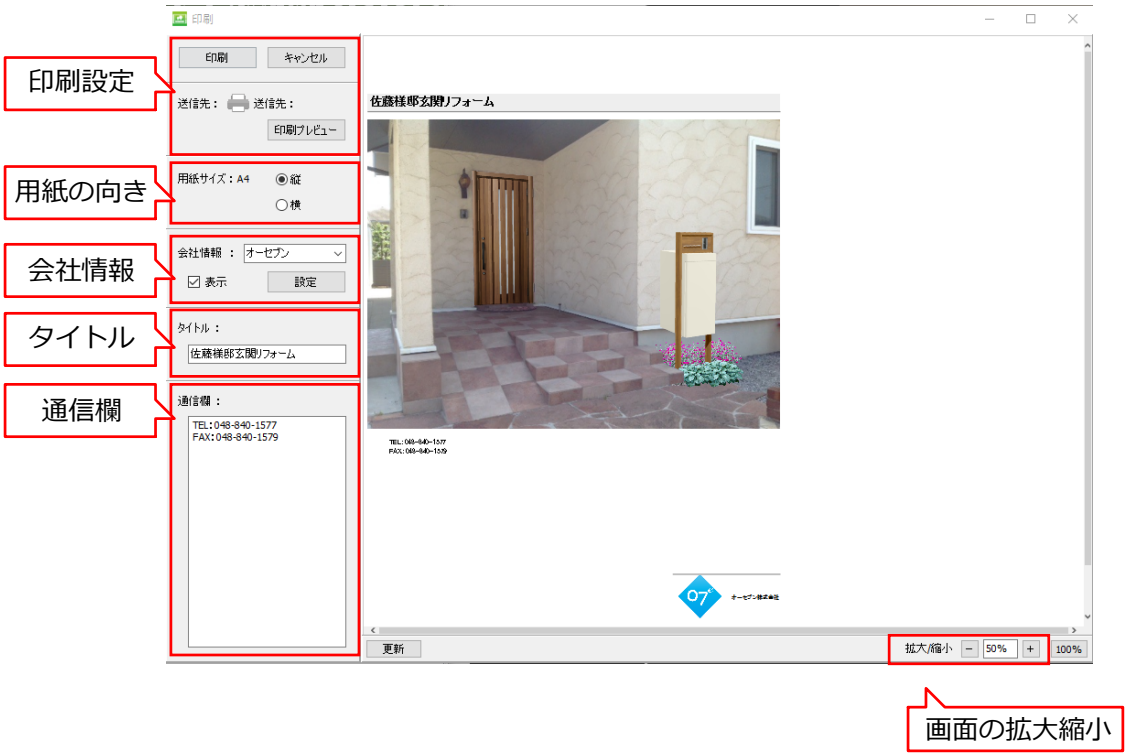
印刷

印刷（写真合成のみ）

写真合成した画像だけを印刷する方法です。

用紙の向き、会社情報、タイトル、通信欄に必要事項を入力して、「印刷」します。

設定画面



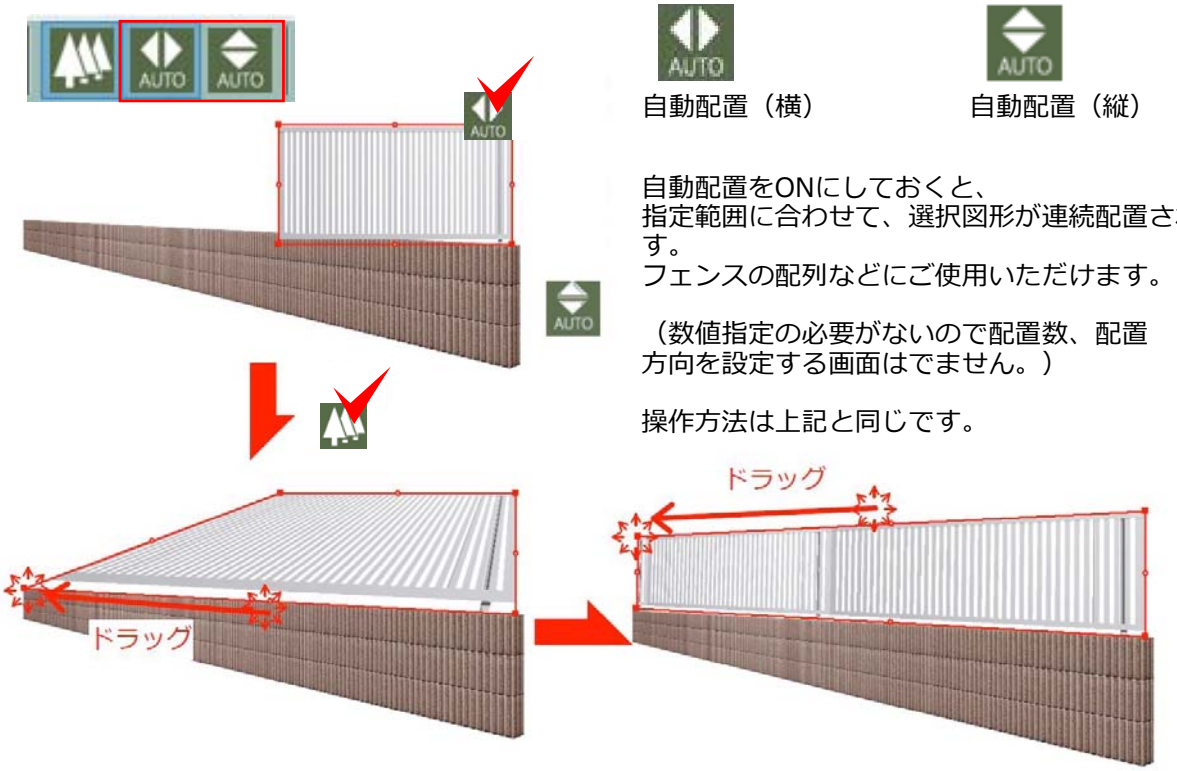
印刷結果

連続配置

AUTOボタンは外しておきます。

1. 並べたい図形をクリックで選択します。
2. をクリックします。
3. 配置数を指定し「OK」をクリックします。
   配置は、横と縦に配置できます。
4. ドラッグで頂点を引き延ばし、配置範囲を決めます。
   ※同時に連続配置できる本数は20本まで。

連続配置・自動配置

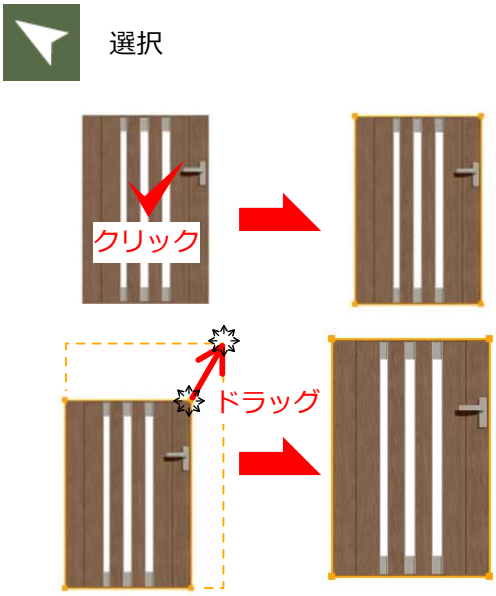


自動配置（横）　　自動配置（縦）

自動配置をONにしておくと、
指定範囲に合わせて、選択図形が連続配置されます。
フェンスの配列などにご使用いただけます。

（数値指定の必要がないので配置数、配置方向を設定する画面はでません。）

操作方法は上記と同じです。

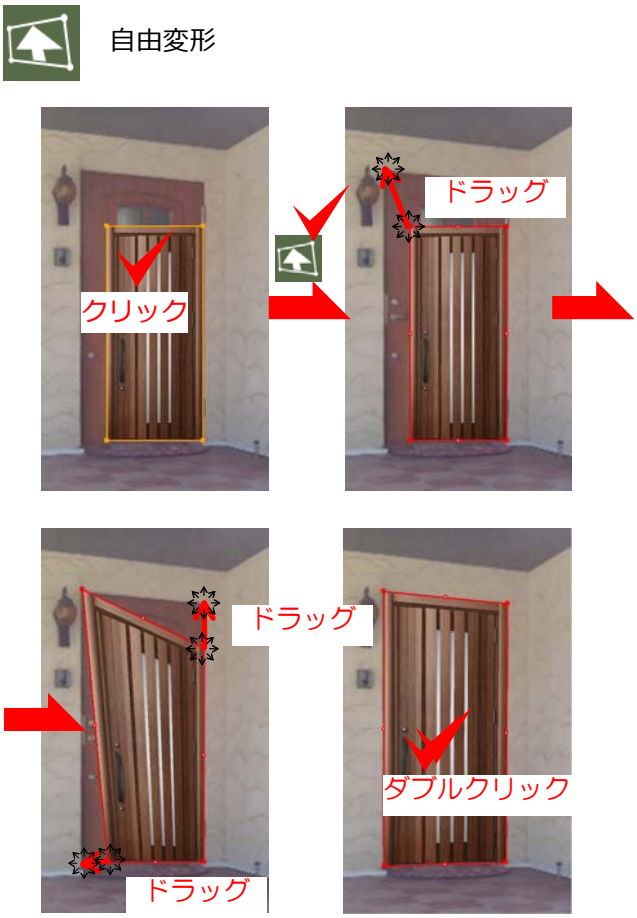


図形選択・拡大縮小・移動

図形選択：図形の上をクリック
黄色い枠と角にポイントが付きます。

拡大縮小：図形選択後、角をドラッグします。
図形を拡大縮小できます。

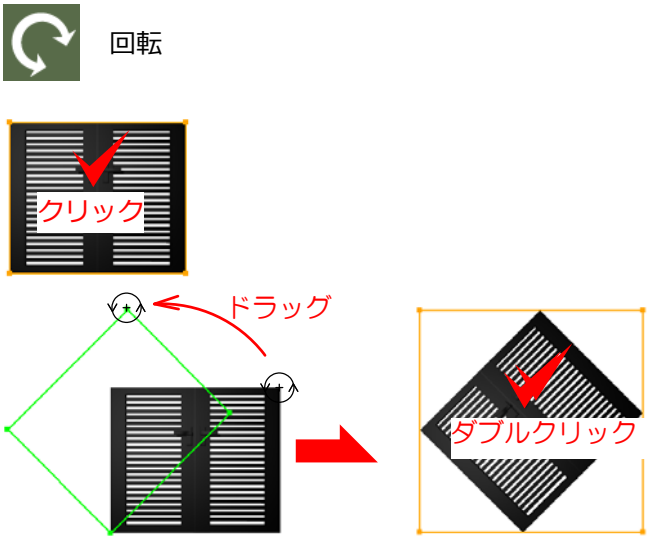
移動：図形をドラッグします。
図形の位置を移動できます。



自由変形

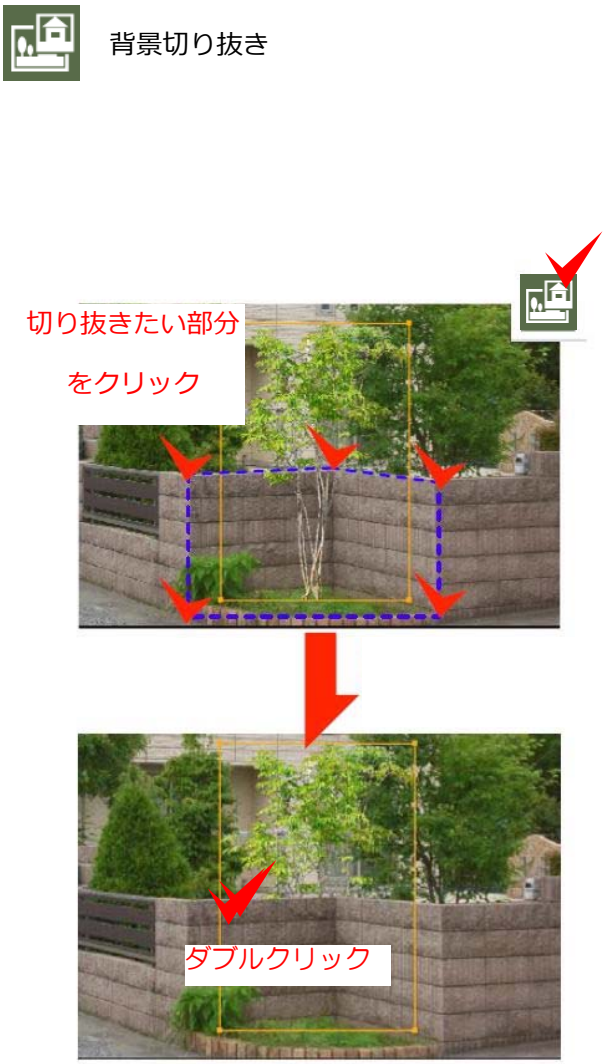
1. 図形を選択します。
2. をクリックします。
3. 赤枠を マークでドラッグし変形します。
4. ダブルクリックで確定します。

図形の形状を写真遠近感に合わせて調整します。



回転

1. 回転したい図形をクリックします。
2. をクリックします。
3. 四隅のいずれかのポイントを回転したい方向にドラッグします。
4. ダブルクリックで確定します。



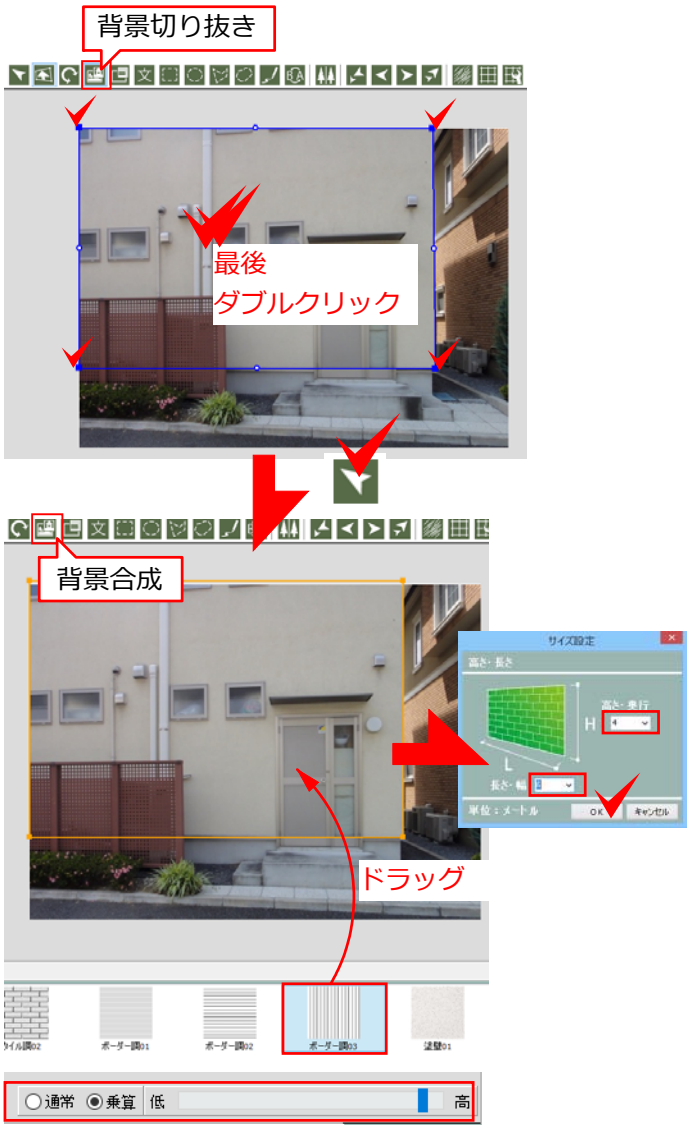
背景切り抜き

配置した図形（植栽）を背景写真の塀の後ろに移動させたい場合、背景写真の一部を切り取って複製し、植栽が奥にあるように合成します。

1. をクリックします。
2. 切り抜きたい部分をクリックします。
3. ダブルクリックで範囲を確定します。

指定した範囲の背景が最前に複製され、植栽が奥にあるように見えます。

背景合成



背景合成

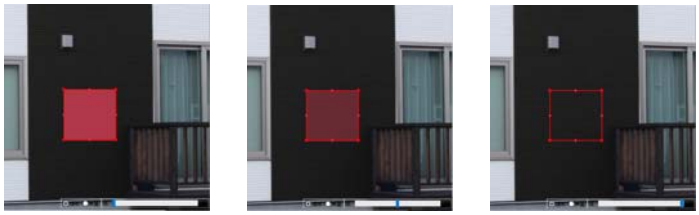
外壁やブロックなどを元の素地を生かして合成します。

1. （背景切り抜き）をクリックします。
2. シミュレーションしたい範囲をクリックします。
3 ダブルクリックで確定します。
4. （選択）をクリックし、切り抜いた図形をクリックして選択します。
5. （背景合成）をクリックし、テクスチャ素材をドラッグします。
6 おおよその寸法を入力し「OK」をクリックします。
7. 外形を写真の遠近感に合わせてドラッグで調整します。
8. 右下の透明度を調整し、ダブルクリックで確定します。

※【通常・乗算】は、背景の色味に合わせて自動で調節される機能です。

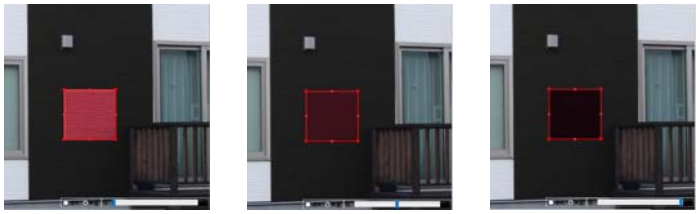
※サッシや窓を避ける場合は、（背景切り抜き）で背景を切り抜きましょう。

背景合成サンプル　:今回合成したコンテンツ



通常：0%　通常：50%　通常：100%

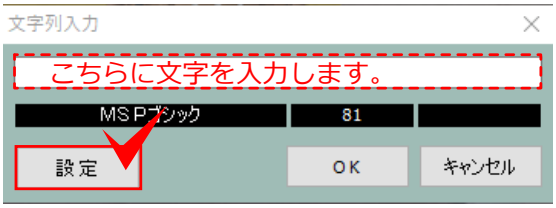
【通常】
不透明な絵の具を塗った感じの表現。

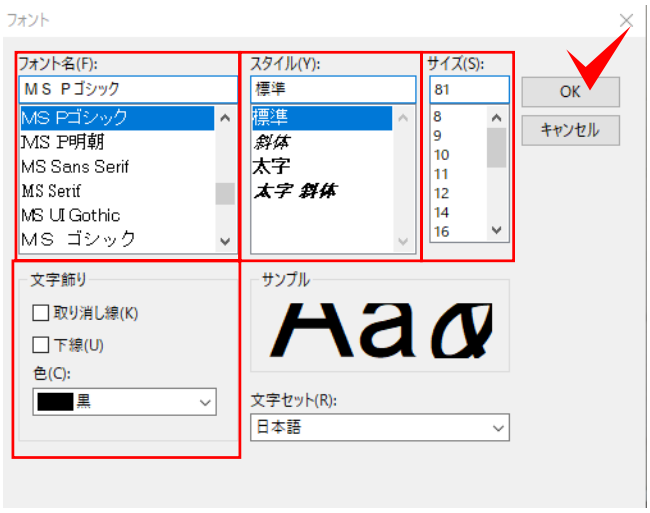


乗算：0%　乗算：50%　乗算：100%

【乗算】
透明なインクを重ねた感じの表現。

文字列

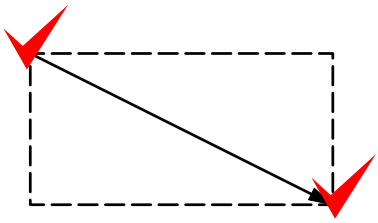




文字列

1. をクリックします。
2. 文字を入力したい場所をクリックします。
3. 文字列入力ウィンドウが表示されます。
   文字を入力後、「設定」をクリックします。
4. フォント、スタイル、サイズ、文字飾りを選びます。
5. 設定後「OK」をクリックします。
6. 文字列入力ウィンドウも「OK」をクリックして確定します。
   写真の上に文字が入ります。

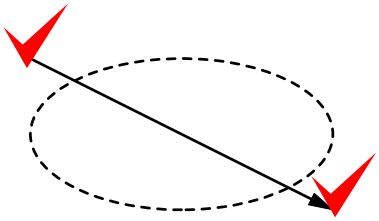
矩形リージョン



矩形リージョン

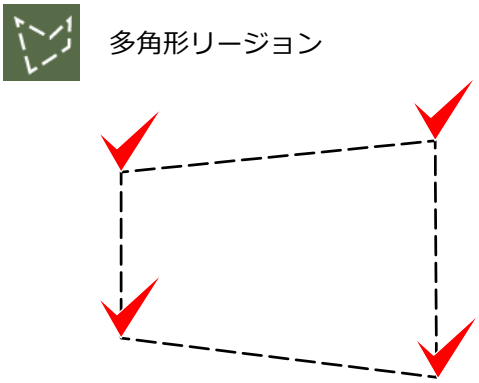
をクリックし、斜めにドラッグすると、任意のサイズで四角の範囲指定ができます。

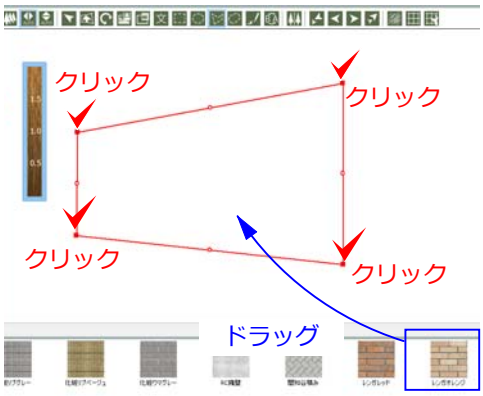
楕円リージョン

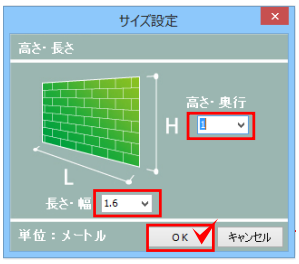


楕円リージョン

をクリックし、斜めにドラッグすると、任意のサイズで円または楕円の範囲指定ができます。



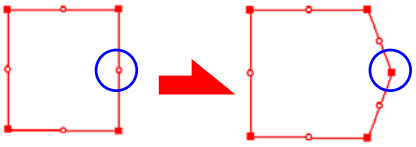




多角形リージョン

をクリックし、任意の点をクリックして囲むと、多角形の範囲指定ができます。

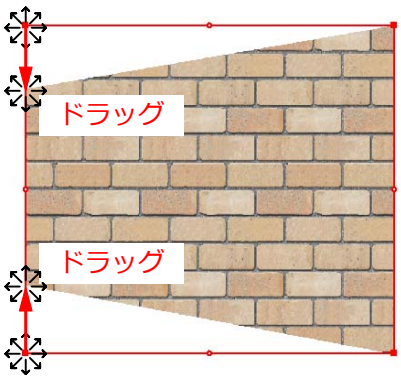
リージョン多角形は中点を移動して、頂点を追加・移動できます。

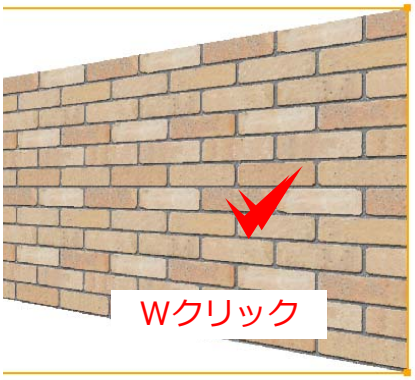


右クリックで頂点を削除できます。

レンガ積塀の作成

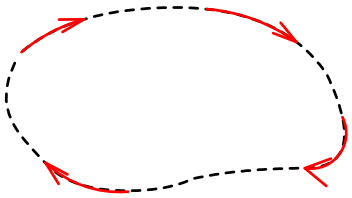
1. をクリックし、任意の点をクリックし、レンガ積塀の範囲を指定します。
2. 素材を選択し、領域内にドラッグします。
3. おおよその高さと幅を選択し、「OK」をクリックします。
4. 遠近感に合わせて頂点を変形します。
5. 調整後、ダブルクリックで確定します。





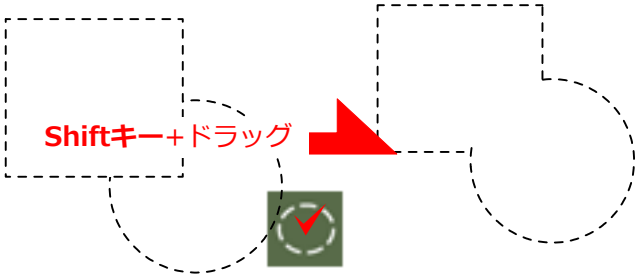
フリーハンドリージョン

フリーハンドリージョン



をクリックし、任意にドラッグすることで自由な形状で範囲指定できます。

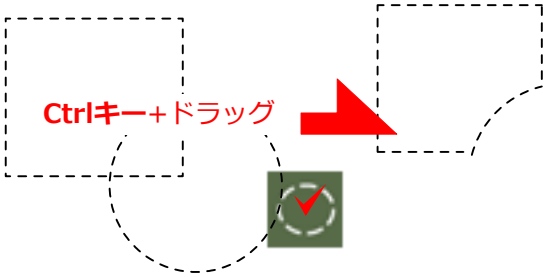
リージョンの合成・削り取り・複数



リージョン図形の合成

をクリックし、ドラッグで四角形リージョンを描きます。Shiftキーを押しながら

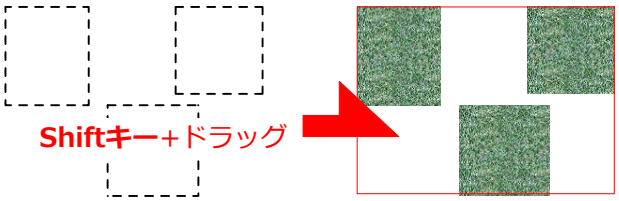
で円を重ねて描きます。
重なった部分が１つになり、リージョン図形が合成できます。



リージョン図形の削り取り

をクリックし、ドラッグで四角を描きます。Cntrlキーを押しながら

で円を重ねて描きます。重なった部分を削り取ることができます。



離れた複数のリージョン図形を描く

をクリックし、Shiftキーを押しドラッグで四角を複数描きます。
部材をドラッグすると、同時に離れた場所にテクスチャ が入ります。

手描きスケッチ

手描きスケッチ

手描きで自由に描き込みができます。
現場写真に打合せのメモを描きこんだり、
イメージ提案に描き加えてご提案書に印刷ができます。

をクリックし、右下に表示されるペンの中から描き込むペンを選択します。カラーと太さが違います。
ドラッグして自由に手描きできます。

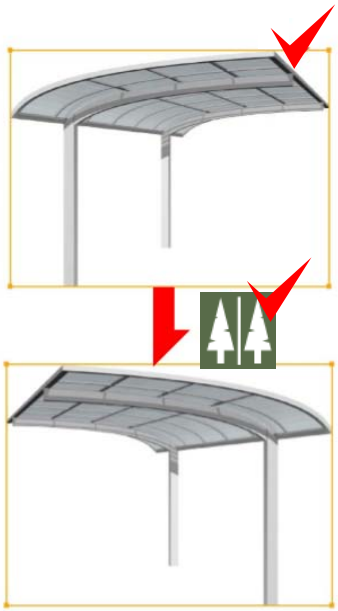
描き込ん線を消したい場合は、消しゴムを選び消したい場所をドラッグするか、「全消去」をクリックして消去します。

ビフォーアフター

ビフォーアフター

ツールをクリックすると、提案前と完成イメージを切り替えて表示することができます。

反転

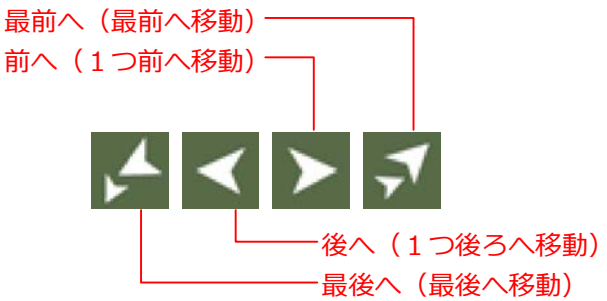


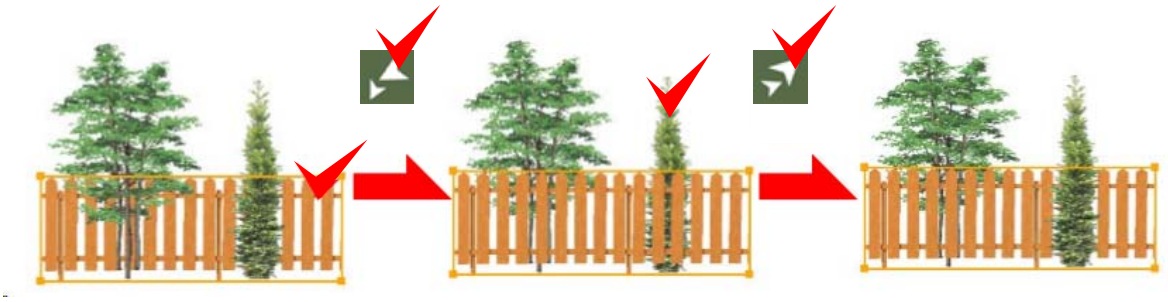
反転

配置した図形を選択後、 をクリックすると、図形を左右に反転できます

前後関係

重なった図形の順序を入れ替えます。図形を選択し各ツールボタンをクリックします

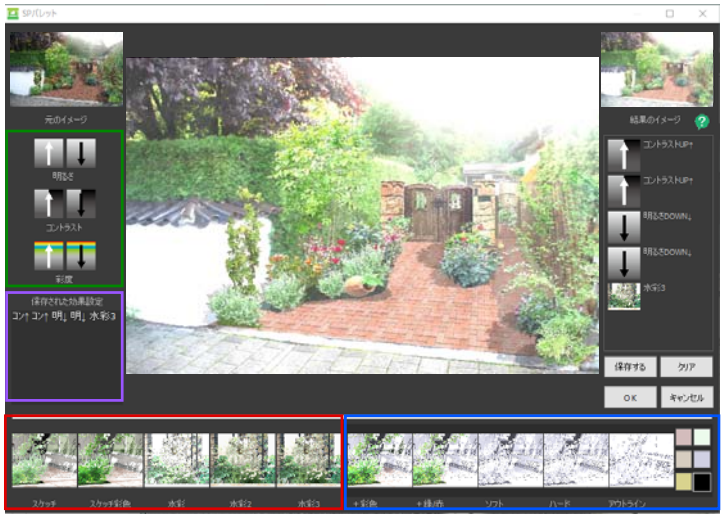




SPパレット

SPパレット

提案イメージの変更ができます。
それぞれクリックすると効果が入ります。
数回クリックして同じ効果を重ねる事もできます。



明るさ/コントラスト/彩度

矢印で明るさなどの調整ができます。クリックする度に段階が変わります。

スケッチ/スケッチ彩色/水彩

スケッチ風の効果をクリックで設定できます。クリックするたびに効果が重なっていきます。

+彩色/+緑/赤/ソフト/ハード/アウトライン

右のカラーを反映できます。右下のカラーをクリックするとお好きなカラーに調整できます。

保存する/クリア

効果を設定後、保存するをクリックすると設定の保存ができます。保存した効果設定は、画面左に表示されます。ダブルクリックで効果を反映できます。クリアをクリックすると、設定した効果を取り消して最初の状態に戻します。

効果サンプル

スケッチ

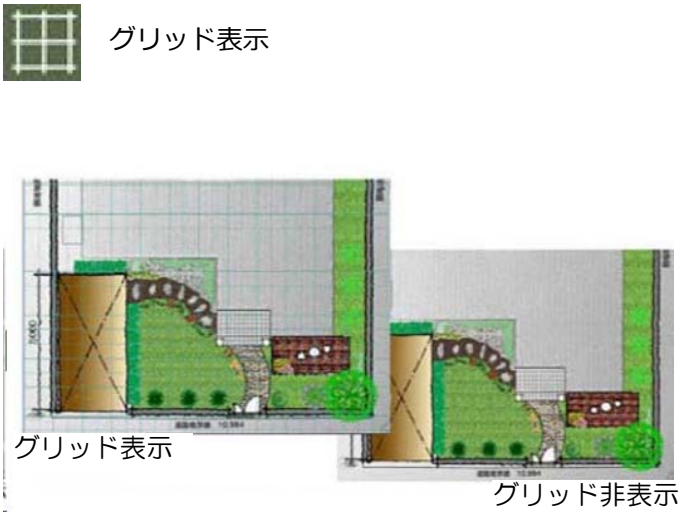
+彩色（黒）

スケッチ彩色

+緑/赤（黒）

水彩

ハード（茶）



グリッド表示

グリッド表示

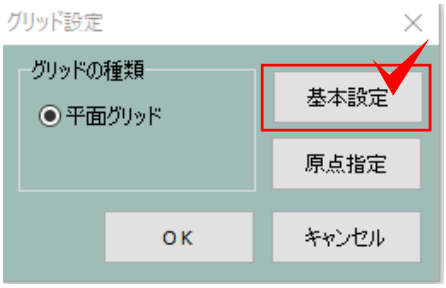
をクリックすると、グリッドの表示/非表示を切り替えできます。

実線で表示される間隔は、1mです。
破線の間隔は0.5mを表しています。

グリッド設定

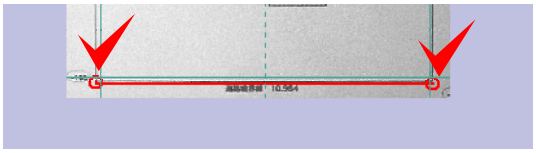
グリッド設定

取り込んだ画像の長さに合わせてグリッドを表示することができます。



1. をクリックします。

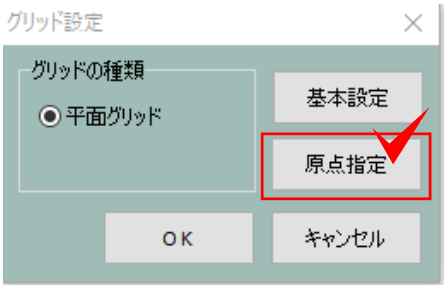
2. 「基本設定」をクリックします。



3. 実際の距離を拾える2点を指定します。

4. 実際の距離を入力後、「OK」をクリックします。

グリッド位置の調整

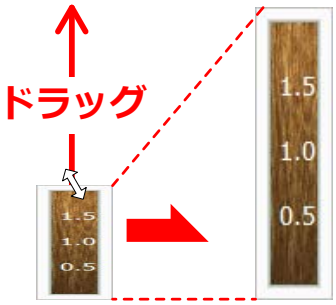


5. 「原点指定」をクリックします。

6. グリッドの原点となるポイントをクリックします。

クリックした位置からグリッドが表示されます。

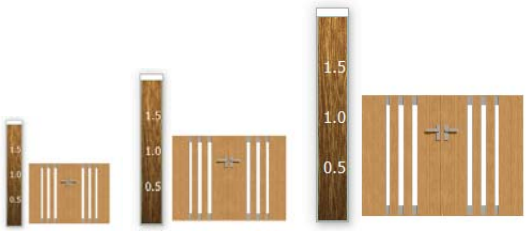
3.その他の操作説明



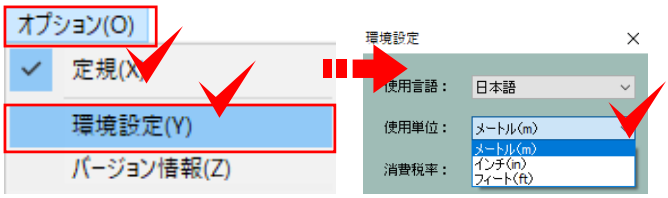
画像の中で約2メートルの部分に合わせて定規の長さを調節します。
例えば、1.4Mの塀と想定し塀の下から上まで定規の1.4のメモリあたりが塀の上に合うように定規を調整します。

定規の調整

定規は、ドラッグで大きさ変更できます。
取り込んだ画像に合わせて大きさをあらかじめ調整しておくと、コンテンツの大きさがその大きさにあって配置できます。
「オプション」メニューから「定規」を選び、表示・非表示を切り替えできます。



スケールの調整によって配置されるコンテンツの大きさが変わります。遠近感に合わせて調整しましょう！



定規の単位変更

初期設定で２mに設定されています。
単位をインチとフィートに切り替えできます。

「オプション」メニューから「環境設定」「使用単位」で変更します。

スケールをうまく使いこなすと…

手前に製品を配置する時の定規の調整

奥の方へ商品を配置する時の定規の調整

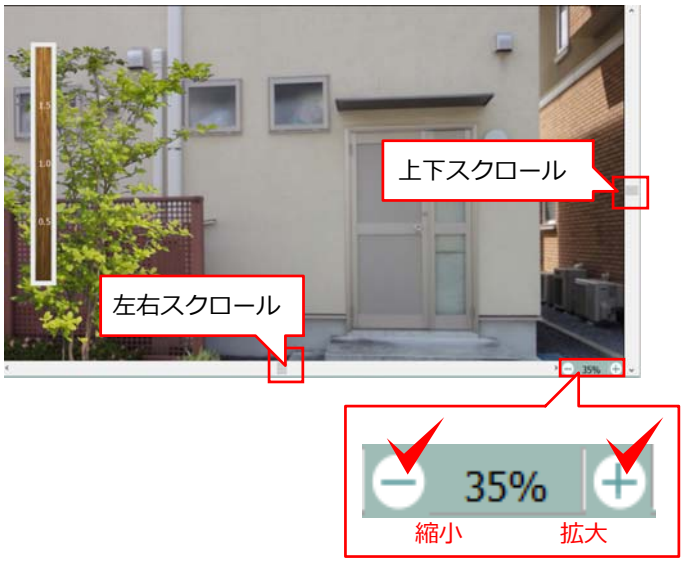
コンテンツを配置する位置に定規を移動し、おおよそ2メートルを想定して定規の大きさを調整します。
手前に置く時と奥の方に置く時とで定規を変更すると、配置されるコンテンツの大きさが変わります。
通常は遠近感に合わせてコンテンツを配置後、サイズ調整が必要となりますが配置前に定規を調整しておくと、適度な大きさで配置されるのでサイズ調整の手間を省けます。

コンテンツの配置

画面左のコンテンツリストから、配置したい部材のリストを選択すると、下のコンテンツボックスにサムネイルが表示されます。

選んだコンテンツを背景画像にドラッグし、図形を配置します。

画面の拡大縮小

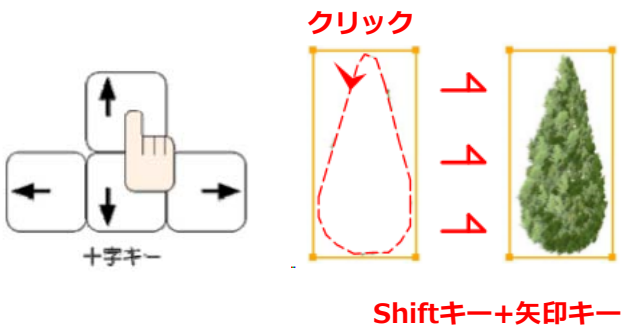


画面の拡大・縮小は、右下の**+**と**-**ボタンで行います。

マウスホイールでも同様の操作ができます。

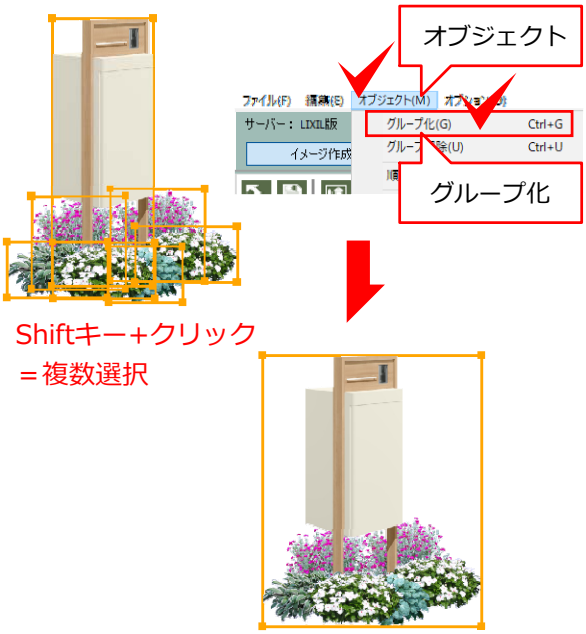
画面の上下スクロールは、右端のバーから左右スクロールは、下のバーから行います。

コンテンツ位置の微調整



選択ツールで微調整したいコンテンツをクリックで選択ます。
Shiftキー+矢印キーを押すと１回の移動幅が少し大きくなります。

図形のグループ化・グループ解除



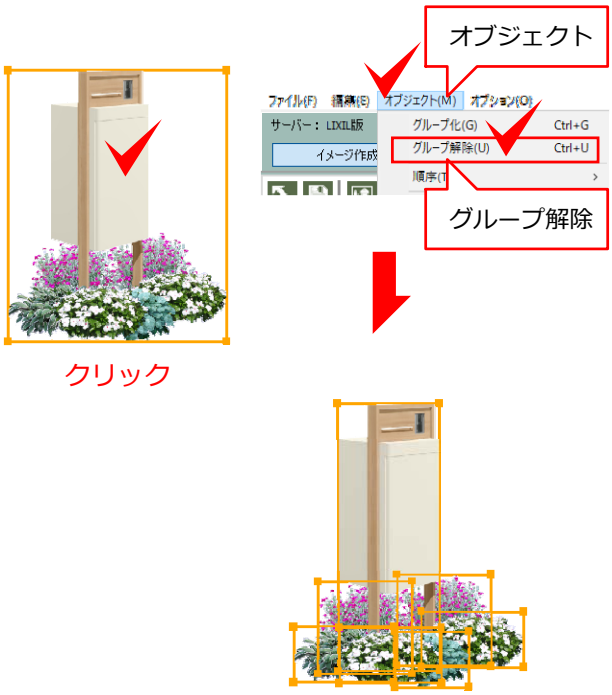
複数図形の選択

配置した図形を、Shiftキーを押しながらクリックします。

図形のグループ化

複数図形を選択後、「オブジェクト」メニューから「グループ化」を選択します。
複数図形を1つにまとめることができます。

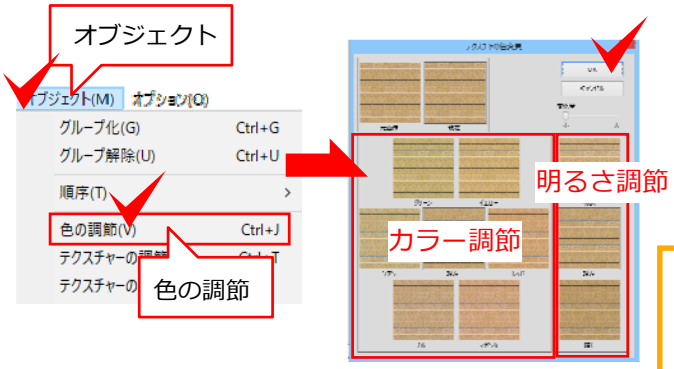
ショートカット　（Ctrl+G）



グループ解除

グループ図形を選択後、「オブジェクト」メニューから「グループ解除」を選択します。
1つにまとめた図形を元の1つ1つに戻せます。

ショートカット　（Ctrl+U）



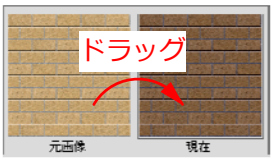
色の調節

写真のように舗装材を貼付後、
「オブジェクト」メニューから「色の調節」を選び、色を変更できます。

クリックして色を混ぜたり、明暗を調節ができます。クリックするたびに色が重なります。
イメージの色にできたら「OK」をクリックすると反映されます。

ショートカット　（Ctrl+J）

色を元に戻すには？

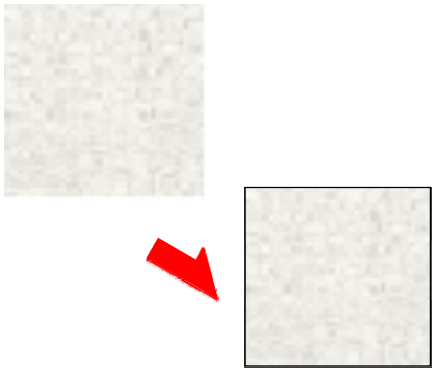


色の調節画面で、元画像を現在にドラッグすると「元画像に戻しますがよろしいですか？」を「はい」とすると、色を初期化できます。

テクスチャの調節

1. リージョンの範囲に部材をドロップし、リージョン内に合成した図形をクリックします。
2. 「オブジェクト」メニューから「テクスチャの調節」を選びます。
   テクスチャの目地方向や角度を再調整することができます。

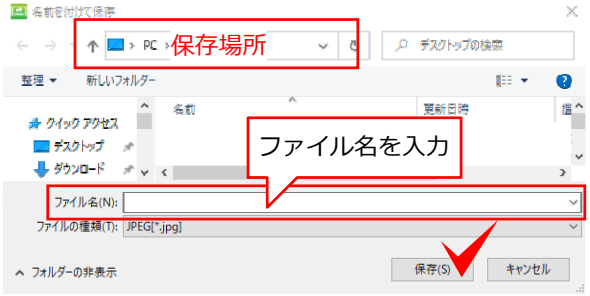
ショートカット　（Ctrl+T）



テクスチャの外形

リージョンで囲んだ範囲に部材をドロップして幅・高さを入力後、「オブジェクト」メニューから「テクスチャの外形」を選択します。
リージョンで囲んだ範囲の外形が黒線で表示されます。

こちらは、寸法などを追う時に、縁に枠線を表示して図形を見やすくするための機能です。



画像の取出

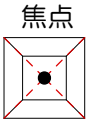
イメージ作成で写真合成した画像を取り出しできます。

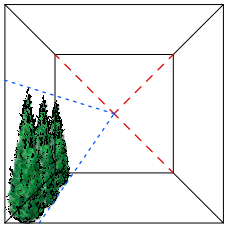
1. 「ファイル」メニューから「画像の取出し」を選びます。
2. 保存先を指定し、ファイル名を入力後、「保存」をクリックします。

※対応形式：JPG・BMP・GIF・PNG

上手に描くコツ

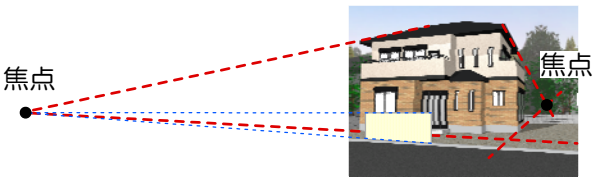
■一点透視図法



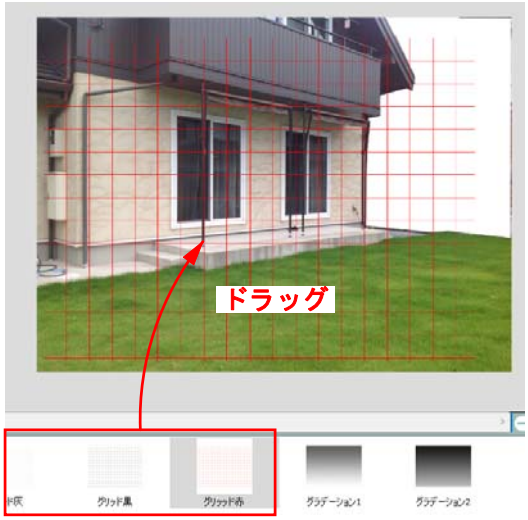


写真などの画像データに合わせて、リージョンを描く時、その画像が一点透視図法になっているか、二点透視図法になっているかを確認してから描くと上手に描けます。

■二点透視図法



例えば左図の建物に塀を描くときには、塀の天端のラインと地面のラインの延長が焦点に合うような意識を持ってリージョンを描きます



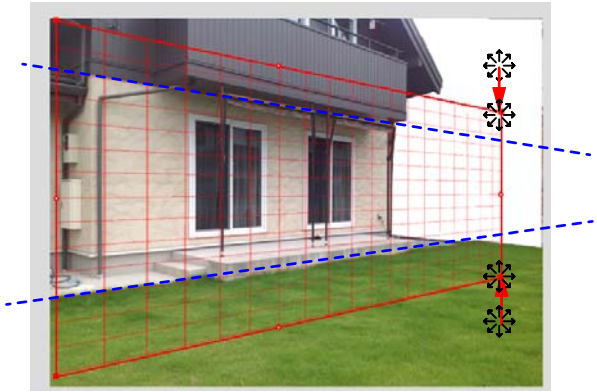
グリッドコンテンツの活用

ブロックや床を写真の遠近感に合わせて描くための補助コンテンツです。

1. グリッドコンテンツをドラッグします。
   グリッドコンテンツは、
   植栽・添景（一般）
   →平面シンボル・その他
   →植栽影・視点枠
   にあります。

2. 自由変形をクリックして、背景に合わせて角度を変形します。

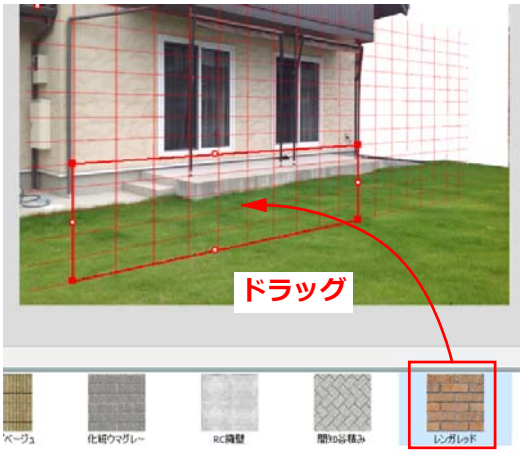
   既存物と平行になるように調整します。



グリッドコンテンツの移動固定

右クリックで「移動固定」を選びます。
グリッドが誤って動かず、作業がしやすくなります。

例：グリッドに合わせて塀描く方法



3.グリッド線に合わせて多角形を描きます。

4. 多角形リージョンで描いた多角形の中に塀材などをドラッグして、形を変形しダブルクリックで確定します。

6.グリットコンテンツをクリックしDeleteキーまたはBackspaceキーで削除します。

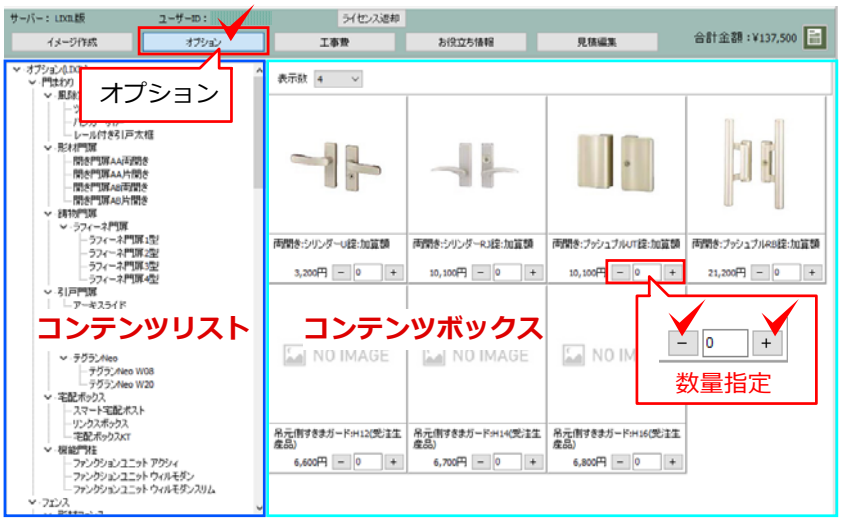
グリッドコンテンツの移動固定解除

移動固定した図形の削除や移動を行う場合は、右クリックで「移動固定解除」を選び次の動作を行います。

4.オプション・工事費

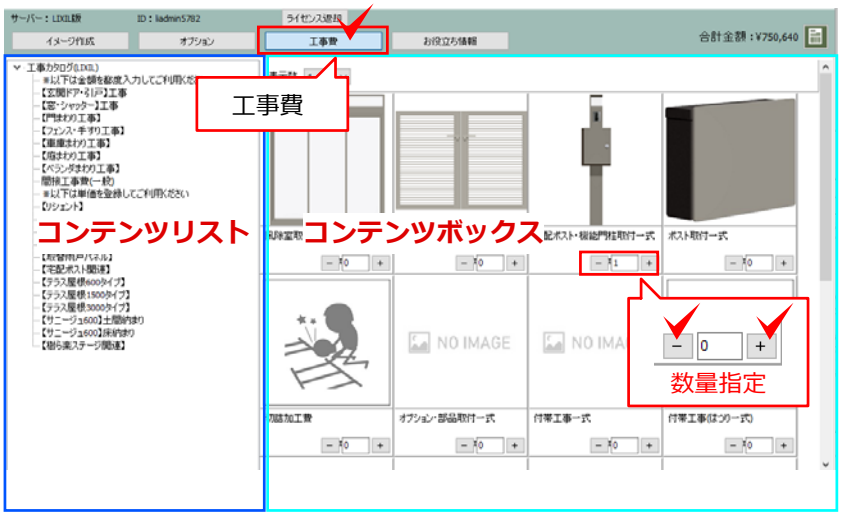
イメージ作成で配置した商品のオプションや工事費など見積に必要な項目を追加します。

オプション



1. ステップを「オプション」に切り替える。
2. コンテンツリストから追加したいオプション項目を選ぶ。
3. コンテンツボックスに表示されたオプション部材の右下にある＋と－のボタンをクリックし、見積に追加する数量を指定する。

工事費



1. ステップを「工事費」に切り替える。
2. コンテンツリストから追加したい項目を選ぶ。
3. コンテンツボックスに表示された工事項目の右下にある＋と－のボタンをクリックし、見積に追加する数量を指定する。

表示数の変更

オプションと工事費のステップでは、横に並ぶ票数を変更できます。

表示数の「自動」をクリックし、横に表示したい数に合わせます。

5.見積書・提案書作成

イメージ作成、オプション、工事費で入力した見積り項目の編集を行い、ご提案書を作成します。

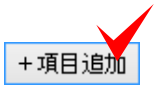
見積編集

ステップを「見積編集」に切り替えまたは、 をクリック

ツールボックス
各ツールアイコンをクリックして操作コマンドを実行します。

見積項目編集画面
見積項目が表示されサイズ調整、値引き、金額調整などを行います。

見積金額合計・総計
見積項目の合計が表示されます。
見積合計に諸経費やお値引きを追加できます。



見積項目削除

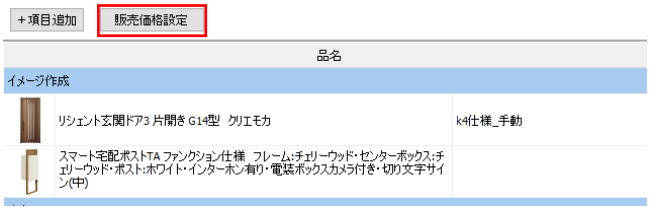
右クリックをして「削除」を選ぶ。
または、項目を選択して、backspaceかdeleteで削除でします。

項目追加

オプション、工事費、その他で見積項目を追加できます。

1. 「+項目追加」をクリックします。
2. 必要事項を入力後、「OK」をクリックします。

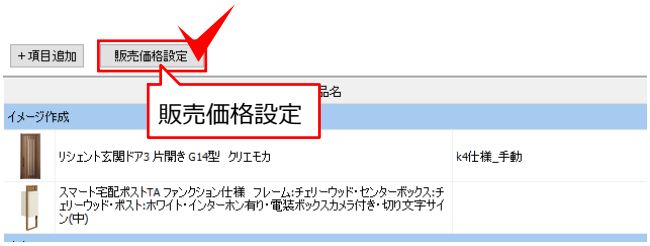
販売価格設定



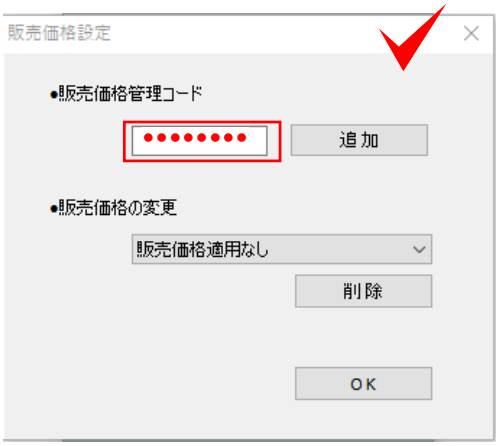
セットアップ時に設定している場合は、「見積編集」のステップに来た時に設定した価格が反映されます。

複数ある価格設定を切り替えたり、見積編集画面から新規で登録することもできます。

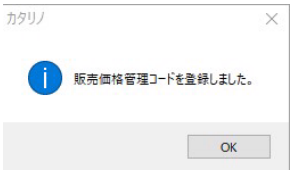
販売価格設定の追加と変更



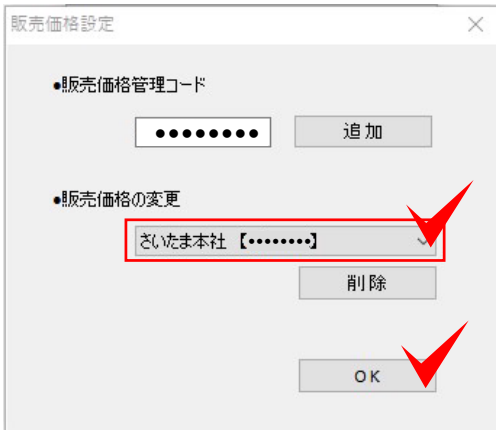
1. 「販売価格設定」をクリックします。



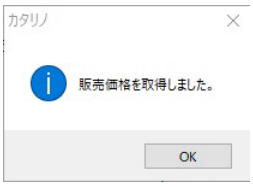
2. 価格管理コードを入力し「追加」をクリックします。
   販売価格管理コードのを登録しましたとメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。



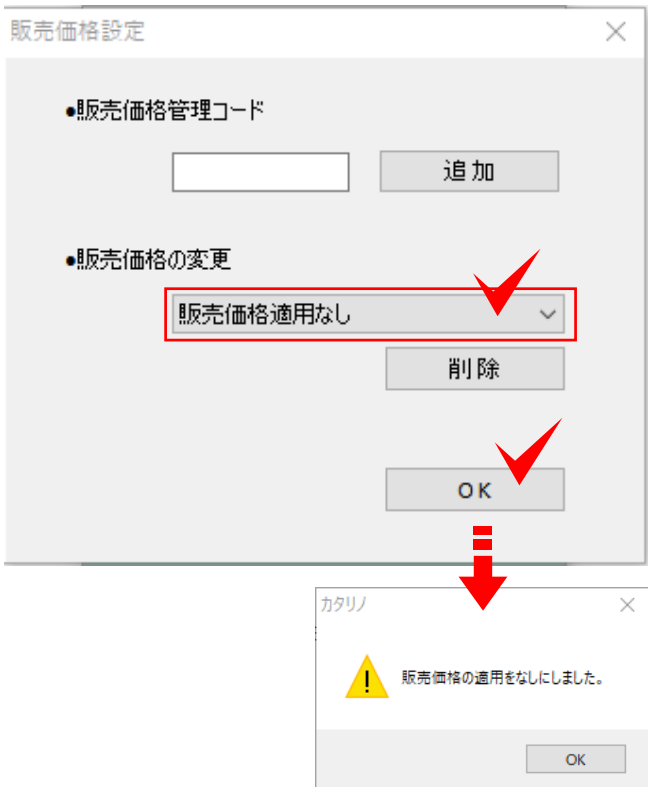
※販売価格管理コードは、販売価格を設定する管理者の方にご確認ください。



3. 販売価格の変更欄をクリックして、プルダウンから設定する価格を選び、「OK」をクリックします。
   販売価格を取得しましたとメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。



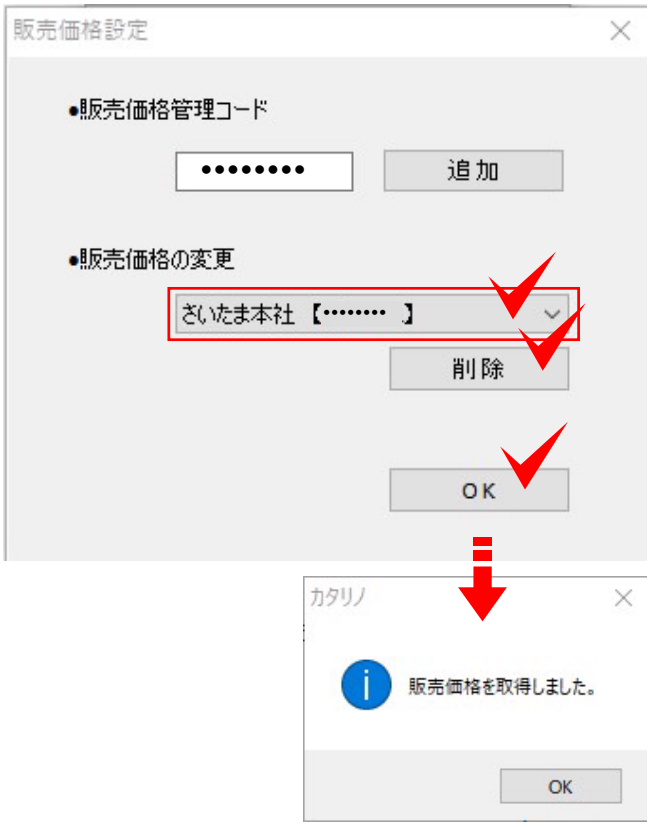
販売価格の解除



1. 販売価格の変更欄をクリックして、ブルダウンから「販売価格適用なし」を選びOKボタンをクリックします。

2. 販売価格の適用をなしにしましたと表示されたらOKボタンをクリックします。

販売価格の削除

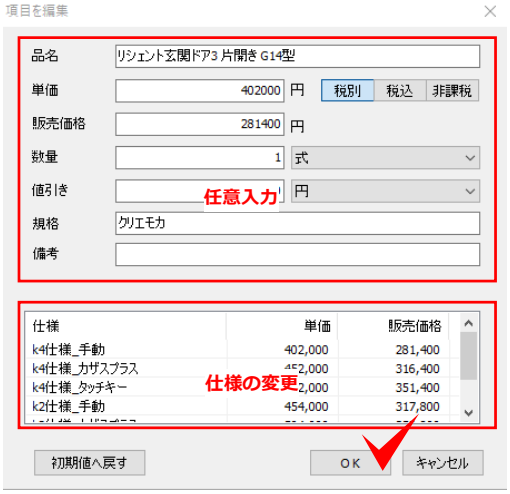


1. 販売価格の変更欄をクリックして、ブルダウンから削除したい販売価格に変更後削除ボタンをクリックし、「OK」をクリックします。

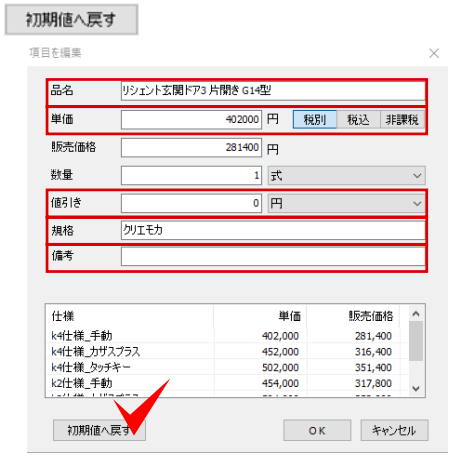
※削除したい販売価格を設定している場合は、削除できません。
一旦他の販売価格に変更して「OK」クリックし、他の販売価格に設定後、1を行ってください。

2. 販売価格を取得しましたとメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

見積項目編集



1. 編集したい見積項目をダブルクリックします。
2. 表示された編集画面でサイズの変更など必要な項目の追加・編集をします。
3. 表示された編集画面でサイズや仕様変更、値引きなど項目内容の追加・編集をします。
   仕様別の価格が登録されている項目は、仕様を変更すると価格が連動します。
4. 「OK」をクリックします。
   見積項目の内容が変更されて表示されます。

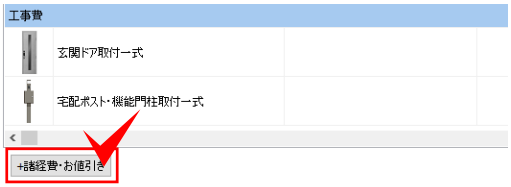


初期値へ戻すは、販売価格と数量以外の値をコンテンツ配置時の値に戻します。

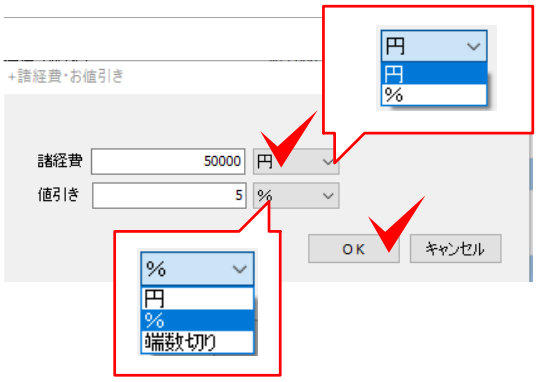
消費税込表示

「消費税込表示」をクリックすると単価と販売価格を消費税込の表示にできます。再度クリックすると税別表示に戻ります。

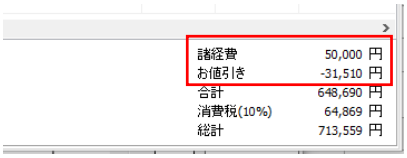
諸経費・お値引きの入力



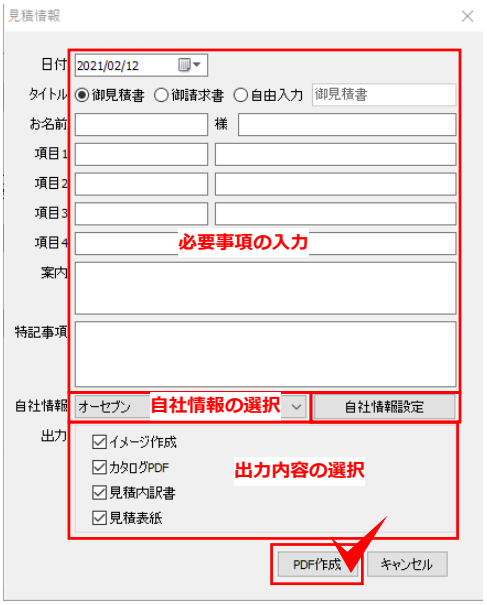
「+諸経費・お値引き」をクリックして、諸経費と値引きの入力後、「OK」をクリックします。見積に反映されます。



諸経費は、金額（円）と割合（%）で設定、値引きは、金額（円）と割合（%）と端数切りで設定できます。



見積書の印刷



※インターネット環境が必要です。

1. 「印刷」をクリックします。

2. 見積情報に日付やお名前、特記事項など必要事項を入力し、登録した自社情報を選択します。

   自社情報は、セットアップ時に登録した自社情報が表示されます。複数ある場合は、切り替えができます。「自社情報設定」をクリックすると編集や追加も行えます。

3. 出力内容をチェックをいれて選択します。

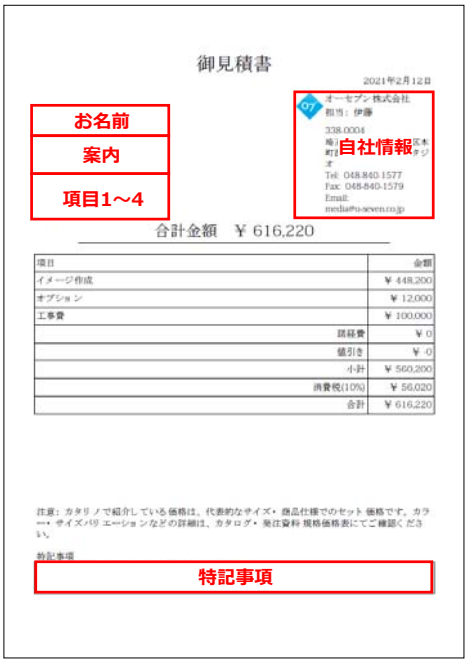
4. 「PDF」作成をクリックします。
   保存先とファイル名を入力して

見積情報について

見積情報で入力した内容は、見積書の所定の場所に反映されます。

入力画面

御見積書



見積の出力書類について

必要な書類を選んでPDF変換できます。ご提案書表紙（背景合成）はすべての書類につきます。

BeforeAfter

使用した商品のカタログ情報

見積の内訳明細書

御見積書

スマートフォン用の
レイアウトで閲覧できます。

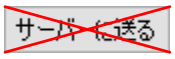
プレゼンシート

※インターネット環境が必要です。
スマートフォンにご提案内容を送ることが出来ます。

「プレゼン」をクリックするとQRコードが表示されます。

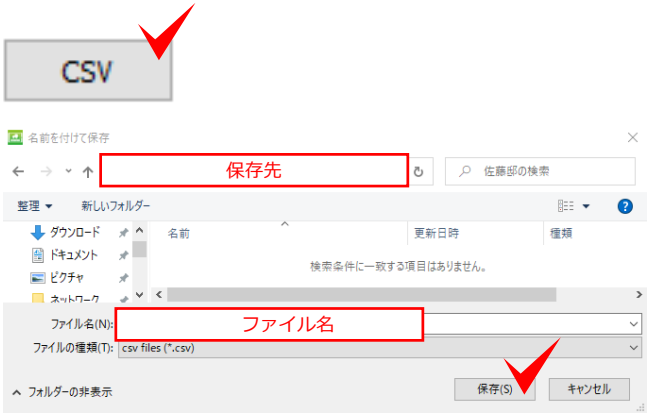
QRコードを読み取るか、メールで送信するとご提案イメージ画像、見積金額をスマートフォン用のフォームでご覧いただけます。

プレゼンシートの表示期限は、15日間となっておりますのでご注意ください。



サーバーに送る

LIXIL版カタリノでは、ご利用いただけない機能となっております。
クラウド積算システムe-Putをご契約のお客様がお使いいただける機能です。



CSVデータ変換

「CSV」をクリックします。
保存先を指定し、ファイル名を入力後「保存」をクリックします。

見積詳細をExcelなどで開くcsvデータに変換できます。

6.e-Board保存・開く

e-Boardとは、オーセブンが提供するクラウドサーバーシステムです。

e-Boardに保存

1. 「ファイル」メニューから「e-Board」、「e-Boardの保存」をクリックで選択します。
   ショートカット　（Ctrl+Alt+S）

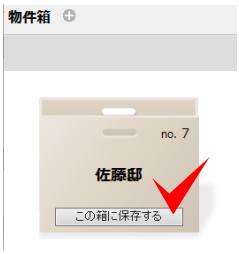
新しい物件箱に保存する場合

2. 物件箱横の ⊕ をクリックします。

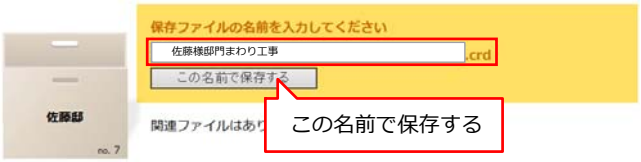
3. 物件名を入力し、下の方にあるア「真意登録」をクリックします。
   一番上に戻り「リストの更新」をクリックします。

保存した物件箱が表示されます。

○○邸と物件ごとの保存や、担当者を物件名にして、担当者ごとのデータ保存もできます。



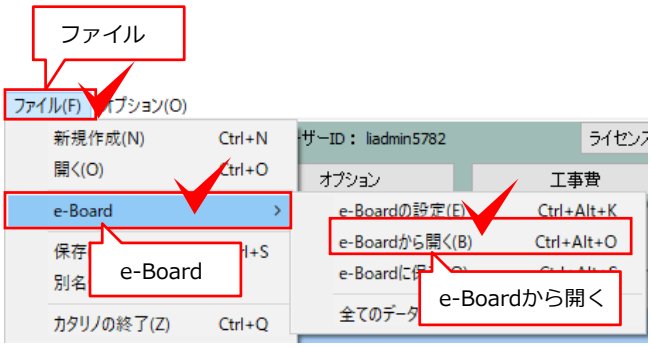
4. 作成した物件箱の「この箱に保存する」をクリックします。



5. ファイル名を入力し、「この名前で保存する」をクリックします。

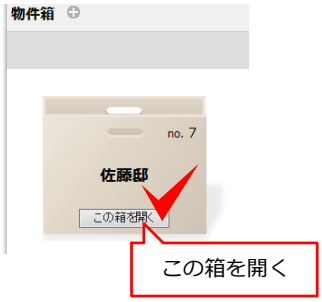
作成済の物件箱に保存する場合

1　→　4　→　5　の順番で保存します。



e-Boardから開く

1. 「ファイル」メニューから「e-Board」、「e-Boardから開く」をクリックで選択します。
   ショートカット　（Ctrl+Alt+O）



2. 開きたいファイルを保存した物件箱の「この箱を開く」をクリックします。

3. 開きたいファイルの「開く」をクリックします。

ファイルを削除したい場合は、「削除する」を選びます。

e-Board保存のご注意

カタリノデータの保存は、ローカルPCへの保存を推奨いたします。e-Boardに保存する場合は、ローカルPCにも必ず保存するようにお願い致します。
e-Boardへの保存は、インターネットの接続状況により保存処理がうまくできず、データが破損する場合もございます。破損についての責任は負いかねますのでご了承ください。

また、e-Boardは、LIXIL版ご利用の皆様共有となっております。容量の上限に達した場合は予告なく古いものから削除する場合がございますのでご了承ください。

社員間での一時的なデータのやり取りのみでお使いになる事を推奨いたします。